

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	122	俳句啓発推進経費	会計	01	一般会計
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	08	芭蕉顕彰費
担当部課名	伊賀支所総務振興課		細目	103	俳句啓発推進経費
作成者氏名	中島義文	連絡先	細々目	01	俳句啓発推進経費
		45-9111			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)		成果(どうなるのか)			
	市民、俳句団体及び観光客		俳句に親しむ機会を提供することにより、市民等が郷土の歴史や文化の魅力に触れ、郷土に対する理解と愛着を深める。また俳句を通して芭蕉を愛し顕彰している地としてのPRができる。			
本年度事業内容	1・投句箱を設置し回収、選句、優秀作品については賞品を送付。 2・芭蕉関連施設の清掃等の管理を地元団体等に委託。 3・春季俳句大会の委託 4・芭蕉の俳句懸垂幕の掲示					
	開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	770	1,099	801
	委託料	399	432	432
	需用費	223	530	232
	報償費	80	80	80
	その他	68	57	57
合計(A+B)		2,210	2,539	2,241
③財源内訳(千円)	特定財源	国庫支出金		
		地方債		
		受益者負担		
		その他特財	600	600
	一般財源	1,610	1,939	1,641
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
投句箱投句数	句	343	360	380
投句箱設置数	個	7	7	7
清掃等の委託施設数	箇所	2	2	2
俳句大会の周知件数	団体	6	6	10
懸垂幕掲示回数	回	4	4	4

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
投句箱投句数	支所管内の観光施設等に設置の投句箱の投句数の集計としました。8箇所(現在7)の投句箱を6月、9月、12月、3月に回収します。	句	343 目標 (343)	360	380
俳句大会参加者数	6月に実施している春季俳句大会の参加者数を指標とします。	人	68 目標 (68)	70	80

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

春季俳句大会については、参加者が管内の俳句団体に限られ一地域を対象とした事業になっています。平成19年度芭蕉翁顕彰会が一本化されるに伴い、俳句大会事業が(財)芭蕉翁顕彰会との共催事業として位置付けられることになっており、伊賀市全体に呼びかけることにより参加者の増加を図ります。投句箱の他支所管内への設置要望も出ています。

評価	必要性	3	平成19年度から芭蕉翁顕彰会が一本化されます。	総合評価
	有効性	3		C
	達成度	3		
	効率性	3		